学校番号	3006

令和８年度　工業科（工業デザイン系）

教科	工業	科目	デザイン実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	高等学校用デザイン実践　（文部科学省／海文堂出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザイン実践は、デザイン用具の用法、色彩や構成についての基礎知識に基づき、創造的かつ計画的にデザインする態度を身につけ、コンクール等に応募することで、デザインを通した社会との関わりや必要性について理解することが目標です。実習を通して観察力を養い、違いを理解し、自らの目を通して、的確に情報を集めることを学び、デザイン論などの座学や工業デザイン実習で学んだことを活用し、学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2　学習の到達目標

デザイン学習の中核となるデザインに関する学科の「実習」の学習と関連を持たせながら、ポスターやパンフレット等を制作するための効果的な表現技法や思考プロセスについて学習し、その応用として、環境保護や販売促進を促すポスターなどのコンクールに実際に応募し実践力が身につくよう指導する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生徒が、本科目に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、環境に配慮しながら「ものづくり」を合理的に検討し、その技術を適切に活用している。	生徒が、本科目に関する課題解決をめざして思考を深める。基礎的・基本的な知識と技術を駆使して、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	生徒が、本科目に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざす。その過程において、主体的に取り組み、実践的な態度を身に付ける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	平面構成	・ポスターデザイン(色彩構成を含む) ・ストライプパターンの再構成 ・平面から立体への変換	a:平面の表現力について、基礎的・基本的な技術を身に付けること。製作工程を合理的に計画して作業できること。 b:作品の設計からプレゼンテーションまで、完成度に与える影響を判断できること。問題解決に向けて自ら条件設定する能力が身に付いていること。 c:自発的・能動的に取り組んでいること。	作品	合評会 作品	観察 合評会 作品
二学期	立体構成	・組紐の制作(色彩構成を含む) ・木製パズルの制作(色彩構成を含む)	a:立体の表現力について、伝統工芸および木材加工を通して知識・技術を身に付けること。製作工程を合理的に計画して作業できること。 b:作品の設計からプレゼンテーションまで、完成度に与える影響を判断できること。問題解決に向けて自ら条件設定する能力が身に付いていること。 c:自発的・能動的に取り組んでいること。	作品	合評会 作品	観察 合評会 作品
三学期	ものづくり実践	SDGsの観点からのものづくり総括	b:　持続可能な循環型社会を目指すため、資源の有効活用をテーマとした課題設定を理解していること c:自発的・能動的に取り組んでいること。	作品	合評会 作品	観察 合評会 作品

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度